

二一〇年八月七日 八日 土曜礼拝・聖日礼拝第一、二

説教者 藤林波映師 今井直喜師

『神の子になるとは?』 ガラテヤ書三章二三節 二九節

メッセージメモ

3:23 信仰が現れる前には、わたしたちは律法の下で監視され、この信仰が啓示されるようになるまで閉じ込められていました。2:4 こうして律法は、わたしたちをキリストのもとへ導く養育係となりましたのです。わたしたちが信仰によって義とされるためです。

2:5 しかし、信仰が現れたので、もはや、わたしたちはこのような養育係の下にはいません。2:6 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。
2:7 洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。2:8 そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。
2:9 あなたがたは、もしキリストのものだとするならば、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です。

(聖書講解)

A (第一段落のまとめ) 人が正しく生きるために、神は人間に()を与えてくださった。しかしながら、現実としては、到底その規準に及ばない生き方しかできていない。これが「養育係」と表現された内容である。

B (第二段落のまとめ) 御子キリストを信じ、十字架にあやかると「信仰」が()された時、人は神の子の立場を頂いた。キリスト者は、人間社会に染みついている一切の差別や格差がない世界を生きることができる。

C (第三段落のまとめ) 神の子として、キリストに結ばれた者には、もう一つの()、「相続人」としての立場が開かれた。これによって、旧約聖書以来、聖書に記された約束は、すべてキリスト者のものとなる。

D (教え) キリスト信仰は、人間の()や修養を越えて、神からの啓示として与えられるものである。素直に受け容れるかどうか問われるのである。

A 律法 B 啓示 C 特権 D 努力

メッセージポイント

神の子キリスト者は、律法の監視

から（ ）（ ）されて生きる。

参照）ガラテヤ書 5:1 この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。だから、しっかりしなさい。奴隷の轡（くびき）に二度とつながれてはなりません。

神の子はキリストと共に、祝福の

（ ）（ ）となる。

参照）創世記 12:1 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。 2 わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める。祝福の源となるように。 3 あなたを祝福する人をわたしは祝福し、あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべて、あなたによって祝福に入る」